

科目名	ライブステージ鑑賞 1								年度	2024
英語科目名									学期	後期
学科・学年	ダンスパフォーマンス科 1 年次	必／選	選	時間数	15	単位数	1	種別※	講義	
担当教員	三山慶人/藤田麻友美			教員の実務経験	無	実務経験の職種		教員		
【科目の目的】										
積極的にライブステージを鑑賞し、1つの音楽ジャンルやアーティストのパフォーマンスを現場で体験して知識を得る。同時に、別の音楽ジャンルも体験し、スタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを実際の現場で学ぶ。アーティストのステージに焦点を当て、周辺を含めたプロの技術を研究する。										
【科目の概要】										
アーティストのステージを研究し、周辺を含めたプロの技術を学びます。										
【到達目標】										
A. 積極的にライブステージ鑑賞に参加する。 B. 1 種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る。 C. 1 種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを現場で体験し知見を得る。										
【授業の注意点】										
積極的に参加してアーティストのパフォーマンスやスタッフワークを鑑賞する事。ライブステージ鑑賞を通じてプロの仕事の現場を理解する為に私語や態度などには厳しく対応する。また、理由のない遅刻や欠席は認めない。ライブ終了後は、感想をまとめて各自今後の自分の実習に生かせるようにする。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう			レベル1 要努力			
到達目標 A	積極的にライブステージ鑑賞に参加する			ライブステージ鑑賞に参加する			到達目標Aについてさらなる努力が必要			
到達目標 B	1 種類のジャンルの音楽を体験するとともにアーティストのパフォーマンスを現場で体験し知見を得る			1 種類のジャンルの音楽を体験し説明することができる			到達目標Bについてさらなる努力が必要			
到達目標 C	1 種類のジャンルの音楽を体験するとともにスタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の技術やスキルを現場で体験し知見を得る			スタッフワーク（照明、舞台、制作、PA）の役割について説明できる			到達目標Cについてさらなる努力が必要			
到達目標 D										
到達目標 E										
【教科書】										
【参考資料】										
【成績の評価方法・評価基準】										
評価基準はルーブリック評価に基づき、鑑賞参加・イベントによってはレポート提出										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		ライブステージ鑑賞 1				年度	2024
英語表記						学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容		到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	第一課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1	鑑賞力とは	ステージ鑑賞の意義がわかる	3	
	2		課題発表	第一課題の意義がわかる			
	3		課題理解	課題の内容を理解できる			
2	第一課題 実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
	2		課題の構造化	課題を分解し、構造化する			
	3		課題練習	構造化した課題について練習を行う			
3	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
4	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
5	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
6	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
7	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3	課題発表	第一課題をまとめ、発表する		
8	第二課題 課題発表 概要説明	課題の趣旨を理解	1	第一課題の振り返り	第一課題について振り返りができる	3	
	2		課題発表	第二課題の意義がわかる			
	3		課題理解	課題の内容を理解できる			
9	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
10	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
11	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
12	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
13	実践	ステージ研究	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	課題の構造化	課題を分解し、構造化する		
			3	課題練習	構造化した課題について練習を行う		
14	まとめ	応用方法を学ぶ	1	現場体験	現場での課題活用事例を知る	3	
			2	構造化した課題の合成	分解した課題をまとめる		
			3	課題発表	第二課題をまとめ、発表する		
15	総合復習	復習の実践	1	第一課題の振り返り	第一課題を自分のものにできる	3	
			2	第二課題の振り返り	第二課題を自分のものにできる		
			3	クリティカルシンキング	クリティカルシンキングを体得することへの可能性を知る		
評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							